

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: R4年 2月 1日

事業所名:

放課後等デイ メロディ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・利用者数や利用時間 療育内容によっては会議室を利用して支援を実施しています。	・個別対応を要する際は静かな環境を整えられるように配慮します。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・職員配置は配置基準を満たしています。有資格職員が支援を行っています。	・看護師を2名配置し、安心して医療的ケアを要する利用児の対応をします。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・様々な障がいに対応できるように、職員間で検討を行い、視覚からの情報伝達等も行っています。(建物の設備等だけではなく)	・今後も必要に応じて対応、改善を検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・活動前の打合せや担当者会議の中で意見交換をしたり、振り返りを行い	・チーム内で業務改善のための重点目標を決め、PDCAを実践し、次年度の取り組みとして活かします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者からの評価やアンケート結果について内容を職員間で共有しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・昨年度実施した自己評価の結果を事業所のHPにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・鹿児島市の実地指導という形で外部評価を受けています。	・令和4年2月に外部に依頼し、第三者評価を実施することになっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・法人内での研修、勤務年数に応じた研修、愛光園、メロディでの研修等を行い、職員の資質の向上を図っています。	・コロナ禍の影響もありますが外部研修(他事業所見学等)等も行いたいと思います。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者面談や担当者会議等の場でアセスメントの見直しを行い、必要に応じて支援計画を変更しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・重心児に特化した事業所独自のアセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・季節の行事や活動内容等話し合いを行い、月案と日案を担当者が中心となり作成しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・年間を通して色々な体験や経験ができるように教材研究や素材の工夫を行い、活動内容が固定化しないよう努めています。	・今後も活動内容の工夫や研究を行い色々な活動を提案します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日や長期休暇時は午前と午後で別の活動を立案しています。主として午前中は園外活動(散策等)を行っています。	・コロナ禍で外出(買い物や外食等)する機会少なかったので、感染状況等を見ながら外出する機会を作ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・基本的にはみんなで活動していますが、利用者の体調や情緒面次第では別室で過ごす等の工夫をしています。	・利用者の状況や年齢(学部を分ける)等の配慮をし安心して過ごせるようにします。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼の中で活動内容や利用者の体調面等の引継ぎ、確認をしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後に全員での打合せは難しい為、翌日の打合せで前日の確認、振り返りをしています。また気づいた点など記録に残すようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・その日の療育の様子等毎日記録に残し、個別ファイルにまとめています。また記録の確認を必ず管責が行い助言等を行っています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・個別支援計画作成後、全利用者毎月担当者会議の中でモニタリングを行い、年に2回評価と計画の見直しをしています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、重心児に合わせた支援を行っています。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・担当職員と児発管ができるだけ参加しています。今年度はズームを利用しての会議も行いました。	・コロナ禍において、できる範囲で参加をしています。また参加できない場合も情報提供等行い支援内容の統一に努めています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・コロナ禍にあり難しい面もありましたが給食参観、関係機関連携を実施し担任との連携を図りました。	・今後も学校と情報共有・情報交換を行います。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・医療的ケアを要する児童に関しては主治医の意見書を基に、支援手順書を作成し実施しています。	・緊急時の連絡体制の確認、安全委員会の実施等今後も安全に医療的ケアができるようにします。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・対象児童がいなかったため、特に情報共有はしていません。	・次年度に対象児童がいるので相談支援事業所や保育園等との情報共有等を図ります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・今年度学校を卒業する児童もいるので移行支援会議に出席予定です。	・契約終了後も同法人を利用される場合は担当者との連携を図りサポート体制を取ります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		・コロナ禍ではありませんが他事業所の公開療育への参加や研修にも参加したいと思っています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		・コロナ禍の影響もありますが、法人内の保育園児との触れ合いなど取り入れたいと思っています。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・法人内の相談支援員が参加しています。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・迎え時の引継ぎや連絡帳の活用等を通して保護者との連携を図っています。また発達の状況等随時話をし学校含め共通理解を図っています。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・今年度、ペアレント・トレーニング研修に行っています。	・今後ペアレント・トレーニングを導入できるように職員研修(ティトレ)等行います。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・見学時や契約時に運営規定や活動内容、利用料等についての説明をしています。	・今後も丁寧な説明・即時対応を努めます。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・面談時等相談された場合はその都度話を傾聴し、助言等行っています。また、日頃から相談しやすい環境づくりを心掛けています。	・ペアレントトレーニングや家族の集い等の中で子育て支援についても取り組みたいと思っています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・家族の集いを開催し、職員や保護者同士の連携を図っています。	・コロナ禍の影響もありますが感染症対策を行いながら、家族の集いや研修等取り入れたいと思っています。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・第三者委員会を設置しており利用契約時に説明をしています。苦情の内容・対応等についても毎月会議を行い、記録に残しています。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月メロディ♪便りを発行し、利用時の様子など写真でお伝えしています。また法人のホームページを定期更新しています。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取扱いに関しては契約時に同意書に記入してもらっています。各機関への情報提供などについても同意を得ています。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・一人一人に合わせたコミュニケーション手段を行うようしています。また視覚支援ツール等を用いて情報伝達を行っています。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・コロナ禍の影響もあり行事等が簡素化され一緒に過ごすことはありませんでしたが、施設近隣の散歩など行う中で交流を図っています。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・各マニュアルは作成しており、職員間での共有はできています。	・各マニュアルの保護者への周知方法を考えます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年に2回、非常訓練(火災・災害)を消防署立ち合いの元行っています。また非常時の職員の動きや避難方法等定期的に確認をしています。	・非常、災害時の保護者への連絡の仕方等も訓練に取り入れたいと思います。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・法人全体で人権擁護や虐待防止について取り組んでいます。毎月1回の人権チェックシート記入・提出を行い自己チェックを行っています。	・今後も人権擁護や虐待防止について研修等行い、人権についての意識が高まるように努めます。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束を行うケースはありませんが、毎月1回身体拘束委員会が行われ児発管が参加しています。	・身体拘束について研修する機会を作り、身体拘束についても意識を高めます。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・契約時の聞き取りの中でアレルギーについて確認しています。現在の契約者の中には食物アレルギーの方はいません。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットやインシデント等については発生状況、原因、対応策等を記入し、職員間で対策や検討をしています。また、毎月1回愛光園内で行われる事故・インシデント委員会に出席し、ヒヤリハット等の検証など行っています。	・今後もヒヤリハット等についての情報共有や検証、再発防止に努めます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。